

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

- ※ 交換留学期間終了後 15 日以内に提出してください。
- ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分 は掲載しません)

留学先大学名	シンガポール国立大学 (National University of Singapore) (国名:シンガポール)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Faculty of Arts and Social Sciences (人文科学学部) School of Computing (コンピュータ)	
留学期間	2016 年 7 月 ~ 2017 年 5 月	
学部/学府・年次	経済学部 学部/学府	4 年次~ 5 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	④・無 (期間: 1 年)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	①. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	留学直前までに、帰国後に履修すべき授業が 1,2 つで済むように調節した。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / (2018)年 (4)月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	就活期間は3月(ES提出)から5月(面接)。第一志望の企業が留学生用には応募枠を作っていなかったため、4月に面接を受けるために一度帰国した。シンガポール滞在時、キャリアフォーラムにも参加した。	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	はい。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	役立ちました。	
1. 留学先大学について		

<p>授業(カリキュラム等)の概要について</p>	<p>授業の進め方として、一つの履修科目が講義とチュートリアル(学部によっては研究室での実験)から構成され、1学期15週間ある中で1～6週目、8～13週目までは通常通りの講義+チュートリアルが行われ、7、14週目が試験勉強期間、15週目からテストが始まるという構成になっている。講義は課題図書や参考資料に目を通して授業に臨んでいるものという前提で行われる。また、出席が義務づけられておらず、主に教授からのプレゼンをノートにまとめるといった形であるのに対し、チュートリアルでは出席と議論への参加、プレゼン発表等を行う。チュートリアルでは講義の履修者を4～6グループに分け、履修者は決められた曜日・時間帯に参加する必要がある。チュートリアルでは講義で得た知識を応用してアウトプットする時間であり、グループワークを行うこともあり講義とは違う学習の仕方が可能。基本的に講義は2時間、チュートリアルは1時間から2時間、授業時間として設けられる。</p>
<p>留学先大学のサポート体制について (語学面/勉学面/精神面/住居・生活面など)</p>	<p>語学面: 基本的に、職員やスタッフの方と英語でコミュニケーションする際に困ることはない。質問にもわかりやすく案内してくれる。 勉学面: 履修に関して分からないことがあれば、“NUS mail”をチェックすることで過去のアナウンスをチャックすることが可能。それでも分からないことがあれば、University Hall に直接問い合わせることで、何をすべきかを案内してもらえる。また、過去問も NUS Libraries Exam Papers に公開されている。 精神面: 私の場合は寮がかなりアットホームな寮だったので多くの友人を作ることができた。しかしながら、留学当初は周りに日本人がいない環境に慣れていなかったせいか、英語を理解し自分の意見を言うことに苦勞し、精神的にきつかったことを覚えている。2ヶ月ほどして精神的にも安定し、楽しめるようになった。 住居・生活面: 私の場合、Hall というところに住んでいた。部屋には、扇風機、机、ベットが一つずつ備え付けられている。洗濯機、キッチンと洗面所とシャワーは共有で、オリエンテーションルームや勉強部屋、ジムや楽器を演奏する部屋もある。最初は蒸し暑くて過ごしにくいと感じたが、最終的には慣れた。同じフロアにいる生徒とも仲良く慣れるので非常に楽しかった。寮のスポーツチームにも所属した。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>留学先大学には非常に満足している。大学の教育システムの質が高いだけでなく、現地の学生や、他の留学生と良い人間関係が作れたことにも満足している。 授業はインターネット上で管理されており、参考資料や課題図書も自分のパソコン内に保存しておけば、講義に行く際、余計な荷物を持ち歩く必要がない。また、成績評価は相対評価であり、点数自体も採点方法だけでなく解説や採点基準も公開される。また、採点後のハードコピー自体も返却される場合が多く、成績評価に不公平さを感じることはなかった。中には非常に苦勞する課題もあるが、取り組み方によっては非常に有意義なものになる。 もっとも自分に大きな影響を与えたのは寮(Hall)での生活である。日本人が自分一人という環境の中で、最初は非常に苦しかったものの、だんだんと現地生や他の留学生と仲良くなることができた。Hall には CCA というクラブ活動があり、私を含め、多くの留学生が CCA に参加していた。スポーツや文化活動を通して、現地生と非常に仲良くなった。Hall に住む方には、自分の好きなことにマッチした CCA に入ることを強くすすめる。また、現地で知り合う留学生とは時間の使い方が似ていたこともあり、学期の間や、長期休暇中に一緒に旅行に行くことができた。バックグラウンドも価値観も全く違う友人と、自分が今まで触れたことのない文化を持つ国に旅行することは非常に新鮮で、学ぶことも多く、また、彼らとの親睦を深めることのできるかけがえのない時間となった。 人それぞれ留学の仕方はあると思うが、このような機会を与えてくれた留学先を選べて良かったと思う。また、このような生活が送れたのも、大学のバックアップがあったからだと思う。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>シンガポール大学を希望しているが、まだ、他のところとも迷っているという方は、いろいろな国の留学経験者に直接質問してみるのもいいと思います。その後、自分が一番興味を持った国や大学を第一志望にする、というのも手だと思います。また、TOEFL や TOEIC の及第点を取得していない方は早めに試験対策を行うことをおすすめします。</p> <p>すでにシンガポール大学を第一志望にしている方も、一度は留学した人に直接話を聞きに行くのが良いと思います。留学をした人全てが同じ生活スタイルや過ごし方をしたわけではありませんが、相談を通して、留学前、留学中、そして留学後に何をすべきなのかを、自分なりに具体的なイメージを持つ事ができると思います。特に留学を 2,3 か月前に控える時期は、色々と準備に関して不安になると思います。その時点で相談しても遅くはないので、相談してみましょう。</p> <p>私が意識していたことは、「シンガポール人、他留学生のいるコミュニティーに身を置く」ということです。授業やクラブ活動など小さなことでも構いません。私の場合は寮に住んでいたのも、基本的に現地生や他留学生と生活を共にしていました。自分の身を置く環境が違うだけで、自然と新しい価値観や自分の挑戦したことのない経験にチャレンジできるチャンスがいくらか訪れてきます。最初は自分の言いたいことが伝えられずに悩むことも多いと思いますが、それは誰でも直面することだと思います。そこを少し我慢することで、最終的には自分の中で新しい視点や価値観を得ることができるだけでなく、良い友人を作ることができると思います。</p> <p>あと余談ですが、旅行することをお勧めします。色々な国や地域に行き、現地の文化、食、そして人と触れ合う経験は、きっと良い経験になると思います。</p> <p>これはあくまでも、私個人の意見です。是非、他の留学生の方の意見も参考にし、自分なりの留学のあり方を確立してください。皆さんの留学生在活が実りの多いものになることを願っています。頑張ってください。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>StudentPass</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>Immigration & Checkpoints Authority (ICA)</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>大学から事前に学生ビザの申請方法が教えられて、オンラインで申請をする。大学のキャンパス内で、提出書類と証明写真を申請する。 (もし書類に不備があれば、再度そろえて直接提出に行く)</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>2 週間~3 週間</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>健康診断書はどの項目も英語で記述されているのを持って行く必要がある。日本語で診断書を提出した場合、現地大病院で再度健康診断を受ける必要が生じる。要注意。</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>上の項目でも述べたが、私は Hall と呼ばれる現地の生徒が多く住む寮に住んでいた。とてもアットホームなところで、留学生に対しても非常に友好的な人が多かった。住居自体に関しては、部屋の中に必要最低限の家具が備え付けられており、食事朝と夜、寮で食べることができる。基本自炊することは少ないと思うが、キッチンもある。</p> <p>食事に関しては好き嫌いがかなり分かれる。私の場合はシンガポールにある食事は基本的に楽しむことができたが、舌に合わないという交換留学生もいた。簡単にキャンパス外に出かけることができるので、いざとなれば自分の好きなものを食べに行ける。</p> <p>寮のスタッフの人も非常に優しい人ばかりであった。普段の手続きから、イベントの告知まで留学生のためにかなり気を配ってくれた。U-town や PGPR とはおそらく違った、かなり現地的な生活ができる場所が Hall であると思う。総じて快適だった。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 80000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 5万 円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 2万 円、電話代: 3500 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 5000 円</p> <p>その他:(具体的に)日用品 1500 円 旅行に行く場合は別途かかります。国によって費用は変わります。</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円</p> <p>(徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>PC</p> <p>SIM フリーの携帯</p> <p>旅行用変換アダプター(シンガポール国外でも使えるため)</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>日常生活に関してはそれほど心配することはない。治安は非常に良好で国内のセキュリティもしっかりしているため犯罪に会うことはまずない。しかし、シンガポールでは様々なルールがあるため渡航前に確認しておくことよい。ご飯を食べる際は、ホーカーセンターと呼ばれる屋外飲食店があり食べ物に関しては中華料理、マレー料理、インド料理に加えて世界中の食べ物を楽しむことができる。</p> <p>ローカルの生徒は食事処や買い物をする場所の穴場を知っているの、彼らに相談してみるのも良いと思う。</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>新生銀行の口座なら、シンガポール内どこの ATM から取引手数料がかからないそうです。私の場合は DBS 銀行の口座を開設しました。NUS 学内にも DBS の支店があるので、必要な書類等を用意して口座を開設することができます。不便と感じたことはありません。新生銀行同様に、基本的にシンガポール国内の ATM であれば利用可能です。</p> <p>新生銀行の開設が最も応用が効くと思います。他国通貨を持っている場合は、シンガポールに現金を直接持っていき、DBS 銀行で口座を開設してもいいと思います。</p>

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・● ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	1A, Kent Ridge Road, Singapore, Singapore (King Edward VII Hall) /(+65) 65165774, (+65) 65165664	
費用(月額)	約5万(水道光熱費, インターネット, 朝食夕食付き, CCA 参加費用は別), 1 学期 20 万	
どのようにして見つけたか	ネット上で各レジデンスを検索。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	推奨できます。 住居に関して:「3. 日常生活の概要、感想」 授業、経験に関して:「1. 留学先大学について」 の内容を参照してください。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	<p>留學開始直後にチェックしておくべきサイトです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NUS International Relations Office (http://www.nus.edu.sg/iro/) ・NUS Office of Student Affairs (http://nus.edu.sg/osa/iss) ・The i.CARE Network (http://nus-icare.blogspot.jp) <p>補足: 携帯電話も契約が簡単にできます。パスポートか VISA があれば問題なく購入できた気がします。現地で確認してください。私は Singtel を利用していました。プリペイド式で、価格も安いと思います。扱っている機種も基本的に SIM フリーなので旅行先でも役立ちます。</p>	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント

6. その他の特記事項